

# 平成31年度 県民の暮らしはこう変わります

## ○ 子育て・家族形成支援

項目	内容	今まで	→	こう変わります
総合的な少子化対策推進	ぐーちょきパスポートの協賛店舗の増加	ぐーちょきパスポート5,743店 (平成30年12月末現在)	→	パスポートを利用できる店舗を400カ所増やします。
幼児教育・保育の無償化	3歳から5歳児の保育料を無償化(0歳から2歳児は非課税世帯のみ無償化)	保育料は国が定める上限額の範囲内で、保護者の所得を基に市町村が設定	→	10月から保育料を全額公費負担(食材料費などの実費徴収あり) ※幼稚園については、月額2.57万円を上限
妊娠期からの虐待予防強化	虐待の予防・早期発見のため、妊婦の相談窓口の拡大や相談後のサポートの充実強化を図る	女性健康支援センターで日中の電話相談を実施	→	日中の電話相談に加え、夜間の電話及びメール相談を受付。 電話相談受付後、必要に応じて面接等の対応を実施。
児童扶養手当給付	ひとり親家庭の利便性の向上と、家計の安定化を図るため、児童扶養手当の支給回数を変更	年3回(4・8・12月)の支給	→	年6回(1・3・5・7・9・11月の隔月)の支給

## ○ 医療

項目	内容	今まで	→	こう変わります
ドクターヘリ運航	ドクターヘリの運航時間延長	8:45から17:45又は日没30分前	→	8:45から18:00又は日没30分前
医師確保対策	若手医師を確保するため、県外医学生向け修学資金貸与制度を創設	貸与制度なし	→	・対象者：県内出身の県外大学医学部5年生 ・貸与月額：10万円 ・貸付人数：10名
内視鏡手術用支援機器(手術支援ロボット)導入	内視鏡手術用支援機器(手術支援ロボット)をがんセンターに導入		→	・がんセンターにおいて内視鏡手術用支援機器(手術支援ロボット)を導入し、より安全・安心かつ最先端のがん治療を提供

## ○ 福祉

項目	内容	今まで	→	こう変わります
高齢者施設整備	特別養護老人ホーム整備	12,408床 (整備中を含む)	→	12,688床 (県整備100床、市町村整備180床)
障害者差別解消推進(ヘルプマーク・ヘルプカード配付)	ヘルプマークとヘルプカードの作成、配付、周知		→	ヘルプマークとヘルプカードを作成・配付し、その周知を図り、「群馬県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」(2月議会提出予定)に掲げる「障害者が必要な支援を求めやすい社会」の実現を目指す  【ヘルプマーク】外見から分からなくても支援や配慮を必要としている方が、配慮を必要としていることを周囲に知らせることで、支援を得やすくなるためのマーク 【ヘルプカード】障害のある方などが、緊急連絡先や必要な支援内容を記載して携帯し、困ったときに周囲に提示して支援を求めやすくなるためのカード
障害者グループホーム整備推進	グループホーム整備	定員2,304人 (整備中を含む)	→	定員2,424人 (県整備のほかに中核市整備及び自費整備を含む)

## ○ 安心・安全

項目	内容	今まで	→	こう変わります
高齢者講習等管理システム整備	高齢運転者の運転免許更新時の負担軽減	高齢運転者が運転免許を更新する際は、認知機能検査や高齢者講習を自分で教習所等に予約	→	自分で予約は不要(認知機能検査や高齢者講習の日時・場所をあらかじめ指定した通知書を更新対象者に送付)(2020年1月予定)

○ 教育

項	目	内 容	今 まで	→	こ う 変 わ り ま す
特 別 支 援 学 校 整 備 ( 高 等 部 整 備 )	2018年4月に4地域で開設した高等部の施設整備	(受入校舎) ・沼田特支：仮設校舎 ・富岡特支：改修中の旧富岡東高校 ・吾妻特支：小・中学部の校舎 ・藤岡特支：仮設校舎		→	(受入校舎の変更) ・沼田特支：3階建て新校舎 ・富岡特支：改修後の旧富岡東高校 ・吾妻特支：改修後の旧吾妻高校 (受入校舎の工事) ・藤岡特支：2020年度から受入できるよう校舎新築工事を実施
特 別 支 援 学 校 整 備 ( 重 複 障 害 生 徒 受 入 整 備 )	太田高等特別支援学校の医療的ケアが必要な肢体不自由の生徒のための増築校舎整備			→	・増築校舎（普通教室4室ほか）で受入
特 別 支 援 学 校 ス ク ー ル バ ス 等 導 入	児童生徒・保護者の通学負担を軽減するため、スクールバスを導入		28台（13校）運行	→	34台(14校)運行 ・新規運行開始：沼田特支 ・運行路線増加：二葉特支、二葉高等特支、吾妻特支
特 別 支 援 学 校 作 業 学 習 充 実	農福連携をさらに進めるため、農作業学習のある学校の設備を充実				・従来の農作業学習に加え、現地実習を受け入れる農家等のニーズに合わせて、ビニールハウス内の作業や農機具等の管理などができるよう、設備を充実。
運 動 部 活 動 指 導 員 配 置 促 進	公立中学校に、実技、安全指導、大会への引率等を行う運動部活動指導員を配置		中学校36校に配置予定 ※県全体の公立中学校数の1/4程度	→	中学校78校に配置予定 ※県全体の公立中学校数の1/2程度
県立学校ICT環境整備	特別支援学校及び高等学校等にICT機器を導入				・動画や画像を活用した授業を行うことにより、児童生徒の学習への興味・関心を高め、学力向上につなげるため、特別支援学校及び高等学校等にICT機器（プロジェクタ・テレビモニタ等）を導入。

○ 経済

項	目	内 容	今 まで	→	こ う 変 わ り ま す
コンベンション施設整備	Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）整備				・Gメッセ群馬の完成（2020年）により、人・モノ・情報を群馬に呼び込み、若者や女性の雇用確保やコンベンション関連産業の活性化が図れる。

○ 交通

項	目	内 容	今 まで	→	こ う 変 わ り ま す
「7つの交通軸」の整備・強化	高速交通網の効果を県内すべての地域に行き届けさせ、産業の発展や観光振興など地域の活性化を図るため、「7つの交通軸」の整備・強化を推進 ・上信自動車道 ・西毛広域幹線道路 ほか				以下の路線の供用により、交通渋滞を緩和し、移動時間を短縮 ・上信自動車道（金井バイパス） ・上信自動車道（川島バイパス） ・上信自動車道（祖母島～箱島バイパス）
通 学 路 歩 道 整 備	子供の交通事故をなくすための歩道整備		通学路に指定されている県管理道路(702.5km)のうち、歩道等が整備されている割合は84.7%(595.3km)	→	通学路の歩道等整備を66箇所で行う 新たに約3kmを整備
舗 装 の 修 繕	幹線道路、観光道路や生活道路の舗装を修繕		舗装がひび割れたり、凹凸で修繕の必要な延長は約270km	→	約57kmの修繕を実施

○ その他

項	目	内 容	今 まで	→	こ う 変 わ り ま す
多文化共生総合相談窓口開設	多言語で行政・生活全般の情報提供を行い、相談に応じる一元的窓口の開設				・5カ国語の通訳職員を配置するほか、音声翻訳機の導入により多言語で相談に対応 ・弁護士、行政書士、社会保険労務士や入国管理局職員による専門相談を定期的に行う